



# だいせん

編集発行

社会福祉法人  
大仙市社会福祉協議会  
Tel0187-63-0277

▶シンポジウムではそれぞれの立場から提言がなされました



笑顔あふれるまちづくりをめざして

地域福祉トータルケア推進全体研修会



▲計画の概要を説明した伊藤委員長

市民一人ひとりが安全に安心していつまでも地域で暮らしていくために「平成二十一年度地域福祉トータルケア推進全体研修会」が、大曲市民会館小ホールを会場に社会福祉協議会関係者等約百名が参加し行われました。

最初に地域福祉活動計画策定委員会の伊藤委員長から「第2期地域福祉活動計画・基本計画」（平成二二～二六年度）の答申並びに概要説明がありました。伊藤委員長は「本日、有明会長に基本計画を答申した。昨年度策定した行政の地域福祉計画と社協の地域福祉活動計画は整合性を持つ

### ☆主な内容☆

- ・シンポジウム要旨、地域福祉活動計画の概要.....2
- ・生活・介護サポーター養成講座修了.....3
- ・福祉員活動、共同募金実績報告など.....4
- ・善意のお知らせ.....5
- ・ボランティア情報.....6

て実行していった欲しい。社協の役割や社会的な位置づけというものを住民一人ひとりに理解してもらおうことが、関係団体や市民の参加につながるだろう。今後、策定委員の皆さんは計画に基づき進んでいるか見極めていただきたい。」と話されました。

続いて、「住み慣れた地域で安心して生活していくために」をテーマにシンポジウムに入りました。

文京学院大学助教の菱沼幹男先生の進行・助言のもと、「すくすくびねっと大仙」代表の佐藤公洋さん、大曲地域の福祉員小林和子さん、仙北地域笑顔あふれるまちづくりを進める会委員高橋節子さん、大仙市社会福祉課参事佐々木清哉さんの四名が実践報告を行いました。（詳しくは二ページ参照）

シンポ 『住みなれた地域で安心して生活していくために』



佐藤 公洋氏

障がいを持つ子も、みんなの手を取り合って、すくすく暮らしていけるように、地域にすむ一人ひとりが甲いやりの心を持ち、みんなで支えあうふれあい豊かな福祉のまちづくりを進めます。



小林 和子氏

障がいを持つ子も、みんなの手を取り合って、すくすく暮らしていけるように、地域にすむ一人ひとりが甲いやりの心を持ち、みんなで支えあうふれあい豊かな福祉のまちづくりを進めます。



高橋 節子氏

笑顔あふれるまちづくりをすすめる委員の高橋さんは、仙北地域で月1回サロンを開催しているが、いつでも誰でも集える居場所づくりが必要と感じていた。「これからは行政に頼るのではなく、みんなが助け合って暮らせる心温かい社会を築くため、身近なところからふれあって、安全に安心して暮らしていける地域にしたい」と話された。



佐々木 清哉氏

市の地域福祉計画策定に携わった佐々木さんは、「地域福祉という分野は自分たちが住みやすいように地域住民が自主的に地域で実践していくことである。行政は住みやすい地域になるような環境をつくっていく。社協は地域の困っている人達の支援をする活動をしているが、今後の大仙市においては、市も社協も同じ方向を向きながら、その地域において連携して行っている施策や、重複するような事業であれば一本化してすすめていきたい」と話された。



菱沼 幹男先生 (文京学院大学助教)

菱沼先生は助言の中で「地域福祉の時代といわれるが、なぜ地域で暮らすことが大切なのかということ、がしつかりとみえていないといけない。何が地域にあるから地域で暮らしたいか、人が幸せだと感じる要素とは良好な人間関係であり、地域にいて育んできた豊かな人間関係があるからこそ、いつまでも地域で暮らしていきたいと思うのである。話を聞いてもらえるだけで落ち着く情緒的サポートや、介護・家事・育児等の手段的サポートなどは、支えてくれる人と人とのつながりがあることでできることである。各地域で様々な実践が行われているが、他地域のまねをしてもうまくはいかない。「真実は方法を生み出す」という言葉があるが、地域で直面しているこの人の生活を何とかしたいという思いがあれば、地域に必要な実践が生まれてくるはず」と結んだ。

第2期地域福祉活動計画の概要

基本理念

『笑顔あふれるまちづくり』  
ひとりの和から大きな輪へ

大仙市に住む全ての人が、安全に安心して笑顔で暮らしていけるように、地域にすむ一人ひとりが甲いやりの心を持ち、みんなで支えあうふれあい豊かな福祉のまちづくりを進めます。

■基本目標と推進項目

- 一・みんなで支えあう地域ぐるみの福祉活動を進めます  
地域の福祉活動への支援、福祉員体制の充実と強化、小地域ネットワーク活動の充実
- 二・福祉活動に対する関心を高め、多様なボランティア活動を支援します  
出会い・学び・協働の場づくり、ボランティアと市民活動団体とのネットワークづくり、災害時のボランティア体制の整備
- 三・きめ細やかで柔軟な総合相談体制と生活支援を強化します  
総合的な相談・生活支援の強化、相談関係機関との情報の共有と連携
- 四・誰もがその人らしく、地域で安全に安心して暮らせる福祉サービスの充実に努めます  
暮らしを支える福祉サービスの推進、質の高い介護サービスと障がい福祉サービスの提供
- 五・市民から信頼される社協をめざします  
情報の公開と発信、法人運営の基盤強化と自主財源の増強、職員専門性の向上

# おめでとぅ！ 生活・介護サポーター養成講座 三十五名受講修了

一月十九日から始まった生活・介護サポーター養成講座は全七回の講座を終え、二月八日に受講者三十五名全員が修了し登録しました。

生活・介護サポーター養成講座は、見守りや買い物支援等の生活基盤支援を必要とする一人暮らし世帯等に対し、地域で安心して暮らしていくことができるように支援するサポーターを養成することを目的としています。

▶修了証を授与された皆さん



修了された皆さんは今後、各地域において支援を必要とする方に対し、社協や関係機関と連携を取り、相談活動や必要とするサービスに取り組んでいくこととなります。  
生活・介護サポーター養成講座は今後も継続して行う予定で、平成二十二年度は百人を養成することを目標としています。

### ※修了者氏名(敬称略)

- |        |        |
|--------|--------|
| 今野 正子  | 米沢 圭子  |
| 高橋 好子  | 阿部たまき  |
| 鈴木いち子  | 伊藤 利弘  |
| 向平 孝子  | 鈴木たえ子  |
| 石山美恵子  | 武藤ユミ子  |
| 齋藤 正一  | 逸見 知子  |
| 嵯峨 邦浩  | 菅原廣太郎  |
| 鈴木 栄子  | 佐々木鉄子  |
| 齋藤 幸子  | 柴田 敏雄  |
| 小山田幸子  | 井上 泰男  |
| 佐々木孝太郎 | 佐藤 澄子  |
| 佐藤 和政  | 嵯峨よし子  |
| 藤原 繁子  | 加藤 真   |
| 高橋 富雄  | 茂木 優子  |
| 石田裕美子  | 高橋 晴子  |
| 高橋 節子  | 佐々木トヨ子 |
| 佐々木好子  | 大信田孝文  |
| 芦野 節子  | (三十五名) |



▶グループワーク  
事例検討を行い、お互いの意見を交換。

▶活動実践と記録  
高齢者宅での訪問調査。



▶安心生活創造とは  
講義で生活支援に必要な知識を習得。



▶介護のいろは  
特別養護老人ホーム愛幸園にて。

## マスコミ キャラクター募集

大仙市と社会福祉協議会では、地域福祉活動を推進していくために、国の補助事業である安心生活創造事業に取り組みたいです。  
安心して暮らし続けることができる地域は、声かけや見守りのある支えあい活動が豊かな地域です。  
そこで、このような地域福祉活動を推進する為のマスコミキャラクターを募集し、採用作品は事業にかかわる広報や啓発活動に使用します。

### 一・応募期間

三月三日(水)～十八日(休)必着  
※郵送もしくは大仙市社会福祉協議会事務局まで提出

### 二・応募資格

どなたでも応募できます。

### 三・作品条件

- ①画材や色彩、表現形態(平面・立体)は自由。ただし、平面での紙による手書き、又はデジタルデザインとします。
- ②マスコミキャラクターに名称と解説をつけて下さい。
- ③作品は自作未発表のものに限ります。
- ④一人でも何点でも応募できます。

### 四・審査結果

三月下旬に郵送にてお知らせします。又、採用された方には謝礼、そして応募された方全員に記念品を贈呈します。

※詳しくは大仙市社会福祉協議会まで  
(電話)〇一八七  
六三一〇二七七

地域福祉のメンテナンス役

「福祉員活動」って?

福祉員は地域の皆さんから選出され、大仙市社会福祉協議会長から委嘱を受けて活動する「身近な地域福祉活動の世話役」です。

地域福祉のアンテナ役として民生児童委員や自治会長と協力して地域の問題を発見し、取り次いでいく「担い手」としての役割が期待されています。

また、地域福祉活動の貴重な財源である社協会費の取りまとめやいきいきサロンなどの活動・事業の協力者でもあり、大仙市では七五〇人を超える方々からボランティアで活動していただいています。

■具体的な活動と役割■

＊社協の活動を地域の方々へ紹介

＊地域で支援を必要とする人の発見と見守り

＊社協や地域の民生委員との連絡・調整

＊福祉に関する要望の取次ぎ

＊社協会員の募集と会費の取りまとめ

＊などがあげられます



共同募金運動へのご協力ありがとうございました

大仙市共同募金会

赤い羽根共同募金総額  
20,011,480円

赤い羽根共同募金で寄せられた募金は、大仙市の地域福祉活動費として来年度早々にさまざまな福祉活動団体や社会福祉協議会へ配分されます。



▲歳末たすけあい募金活動(大曲農業高校生)

十月一日から始まりました「赤い羽根共同募金運動」と十二月一日から始まりました「地域歳末たすけあい募金」については、たくさん温かいご理解、ご支援を賜り、大きな成果を上げることができました。

地域歳末たすけあい募金総額  
11,825,648円

地域歳末たすけあい募金は、大仙市の地域福祉活動費として来年度早々にさまざまな福祉活動団体や社会福祉協議会へ配分されます。

社会福祉協議会では地域支えあい事業など住民活動の支援やエンゼル事業、ボランティア団体の育成などに役立てられます。歳末たすけあい募金で寄せられた募金は社会福祉協議会が全額配分を受け、各地域において配分委員会を開き、民生児童委員さんの協力により、一人暮らし高齢者や一人親家族、障がい児者等の世帯に対し見舞品を贈呈しました。

分会名	赤い羽根募金	歳末たすけあい募金
大曲	5,847,040	5,591,718
神岡	1,508,312	487,050
西仙北	3,202,816	1,333,252
中仙	2,433,368	1,295,300
協和	2,371,943	1,420,482
南外	1,008,756	250,044
仙北	1,829,961	1,283,905
太田	1,809,284	163,897
合計	20,011,480	11,825,648

(単位:円)

# ありがとうございます

## 福祉への思いやり

頂きました寄附金やご香典返しにつきましては、地域福祉活動を中心に有効活用させていただきます。

平成21年10月1日

～平成21年12月31日

### 一般寄附金品

- 大曲地域**
- ・秋田建築労働組合大曲支部 (支部長 片野 良治様) 一〇,〇〇〇円
  - ・四ツ屋小学校児童会様 一〇,〇〇〇円
  - ・加藤 正行様 (内小友) 一〇,〇〇〇円
  - ・衣類一六〇点 五,〇〇〇円
  - ・(株)ダイナム様 おもちや類 九〇,〇〇〇円
  - ・匿名様 九〇,〇〇〇円
  - ・刘和野小学校5期同期会並びに刘和野中学校8期同期会 九〇,〇〇〇円
- 中仙地域**
- ・豊岡婦人会 (会長 高橋 玲子様) 五,〇〇〇円
  - ・中仙芸友会 (会長 村上 ミツ様) 二〇,〇〇〇円
  - ・ふるさと芸能友の会 二〇,〇〇〇円
- 協和地域**
- ・池田 剛様 (小種) 電動シニアカー 八,九二二円
  - ・協和グラウンドゴルフ協会 (会長 安田 稔様) 一,八一〇円
- 太田地域**
- ・匿名様 二〇,〇五一円
  - ・竹 リミ様 (斉内) 三,〇〇〇円
  - ・まつくら 一五,〇〇〇円
  - ・大曲婦人ボランティアの会 (代表 富樫 麗子様) 三〇,〇〇〇円

### ■心配ごと相談事業■

大仙市社会福祉協議会では、心配ごと相談を各地域で行っています。

各支所の心配ごと相談員や職員が様々な生活支援の相談に応じており、相談の内容によっては、在宅出前相談や関係機関と連絡を取り解決のお手伝いをします。法律や相続などの専門相談についても弁護士や司法書士が対応しています。

お気軽にご利用下さい。

4月～1月  
各支所での合計  
相談受付件数

# 787

件

**◎主な内訳**

- ・生計217件
- ・老人185件
- ・財産 57件
- ・法律 61件
- ・家族 45件
- ・住宅 50件
- ・その他172件

### 「車イスを寄贈」

曲仙会(代表 佐々木實様)より、高級アルミ車イスが2台寄贈されました。毎年、チャリティ演芸会の収益金などから寄附いたたいております。ありがとうございます。ご協力ありがとうございました。



### 「香典返し」

- 大曲地域**
- ・原 功様 (福見町) 五〇,〇〇〇円
  - ・佐々木道嗣様 (福見町) 三〇,〇〇〇円
- 神岡地域**
- ・黒川 周治様 (宇留井谷地) 一〇,〇〇〇円
  - ・伊藤 貞治様 (本郷野) 五〇,〇〇〇円
  - ・斉藤 憲治様 (北楯岡) 五〇,〇〇〇円
  - ・鈴木 繁彦様 (北楯岡) 三〇,〇〇〇円
  - ・鈴木 松四様 (北楯岡) 三〇,〇〇〇円
- 西仙北地域**
- ・日野 憲一様 (刘和野) 七〇,〇〇〇円
  - ・田村 実様 (刘和野) 五〇,〇〇〇円
  - ・高橋 年子様 (土川) 三〇,〇〇〇円
  - ・木村 章光様 (刘和野) 三〇,〇〇〇円
  - ・藤原 均様 (土川) 三〇,〇〇〇円
  - ・永澤 兼久様 (刘和野) 五〇,〇〇〇円
  - ・佐藤 一男様 (土川) 三〇,〇〇〇円
  - ・須藤 唯孝様 (刘和野) 五〇,〇〇〇円
- 中仙地域**
- ・草薙 栄良様 (豊川) 三〇,〇〇〇円
  - ・秋山 功様 (長野) 一〇,〇〇〇円
  - ・高畠 清様 (清水) 三〇,〇〇〇円
- 南外地域**
- ・今野 恭男様 (沖田) 五〇,〇〇〇円
  - ・相馬 和博様 (東京都) 五〇,〇〇〇円
  - ・相馬 愛子様 (下木直) 三〇,〇〇〇円
  - ・高橋 康彦様 (斉内) 五〇,〇〇〇円
  - ・鈴木 弘之様 (国見) 三〇,〇〇〇円
- 協和地域**
- ・五十嵐憲男様 (船岡) 二〇,〇〇〇円
  - ・佐々木隆男様 (小種) 一〇,〇〇〇円
  - ・進藤 悦郎様 (境) 二〇,〇〇〇円
  - ・武藤 郁也様 (下淀川) 三〇,〇〇〇円
  - ・進藤 正行様 (荒川) 五〇,〇〇〇円
  - ・渡辺 忍様 (境) 五〇,〇〇〇円
  - ・島田 和久様 (船岡) 三〇,〇〇〇円
  - ・関口 正幸様 (境) 三〇,〇〇〇円
  - ・田崎 孝様 (峰吉川) 七〇,〇〇〇円
- 大曲地域**
- ・高橋 篤朗様 (豊川) 三〇,〇〇〇円
  - ・高橋 隆夫様 (清水) 一〇,〇〇〇円

ご厚意に感謝申しあげるとともに故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



▲大曲中学校野球部

僕達野球部は雪まる隊に参加し、その際に「ありがとう」と言ってもらい充実感がいっぱいになりました。

(佐藤真人主将)



大仙雪まる隊

ボランティア情報

ゆめさき

高齢者や障がい者など自力での除雪が困難な世帯に対して除雪活動を行う除雪ボランティア「大仙雪まる隊」が各地域で活動しています。十二月十日の出動式から始まった今年度の活動ですが、十二月下旬からのまとまった降雪により、例年より早い除雪活動の開始となりました。玄関や窓付近などを中心に家の周りを除雪する

ことにより、避難通路の確保や家屋の損壊を未然に防ぐことができました。今年度の大仙市全体の出動回数は五〇回を超えており、地域の町内会、青年会や企業など各団体が活動を行っています。

雪まる隊が活動を行った一人暮らしの女性は、「腰痛がひどくて、冬になると除雪のことで頭を悩ませていましたが、ボランティアが来てくれて本当に助かりました」と話していました。



▲秋田修英高等学校福祉活動部

今回、除雪ボランティア活動をして、お年寄りの方に喜んでいただきました。機会があればまた参加してみたいと思います。(小松昇吾さん)



▲大曲工業高等学校野球部

少しでも困っている方々の役に立てたことを嬉しく思います。部活動でも気持ち良く応援していただけるチームを目指して頑張りたいです。

(羽根川洸太マネージャー)

除雪ボランティア大仙雪まる隊が活動しています

活動紹介

「NPO法人障がい者自立生活センター ほつと大仙」

当事者やボランティアが中心となって設立した「ほつと大仙」(石川和美理事長)では、バリアフリー社会の推進や障がい福祉サービス事業所「ほつべ」の運営等の活動をしています。

この「ほつべ」では、障がい者の就労支援及び生産活動(弁当の製造販売・コーヒーマスター焼きそばの調理販売・菓子の販売・名刺の作成等)を行い、障がい者が地域で自分らしく暮らしていくための支援をしています。

弁当や焼きそば、駄菓子はお届けします。ご利用をお待ちしています。電話〇一八七〇六二一七七六六



▲厨房での作業の様子



ほつべの店舗▶

社会福祉法人 大仙市社会福祉協議会

〒014-0064 秋田県大仙市小貫高畑字中荒所60番地5

TEL 0187-63-0277・FAX 0187-62-8008・ホームページ <http://daisen-syakyo.jp/>

- 大曲支所 0187-63-0277
- 西仙北支所 0187-75-1145
- 協和支所 018-892-3532
- 仙北支所 0187-69-7799
- 神岡支所 0187-72-2948
- 中仙支所 0187-56-4670
- 南外支所 0187-74-2097
- 太田支所 0187-88-2940